

令和3年度 天神川水害タイムライン検討会 第1回検討会

議事概要

(日 時) 日時：令和3年6月1日(火) 15:15～

(会 場) 倉吉河川国道事務所 会議室 (一部機関 Web 参加)

(議事内容)

- (1) 開会挨拶
- (2) 天神川水害タイムラインの概要
- (3) タイムライン読み合わせについて (各レベルの状況や連絡内容の確認)
- (4) 総評
- (5) 今後のスケジュール等について

1. 会議概要

令和3年度の出水期を前に、大規模な水害に備えるために天神川水害タイムライン検討会を開催した。

新年度となり担当者が変更となった関係機関もあることから、これまでの検討経緯やタイムラインの概要を説明し、タイムライン運用時のイメージを持つために、読み合わせとして、各タイムラインレベルで想定される状況や関係機関の主な行動の確認を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から web 会議方式との合同開催とした。

(1) 開会挨拶

倉吉河川国道事務所副所長及び座長の三輪教授より開会の挨拶を行った。

【倉吉河川国道事務所 副所長】

天神川水害タイムラインは、天神川において、関係機関が連携して住民の命を守り、さらに、経済被害を最小化することを目的として昨年5月に策定された。

昨年度から運用を開始し、昨年度は、幸い天神川水系では大きな出水はなく、天神川水害タイムラインを立ち上げる状況には至らなかったが、9月26日には、天神川上流域の三朝町において、局地的な集中豪雨により土砂災害が発生した。鳥取県には大きな影響はなかったが、令和2年7月豪雨では、熊本県など九州地方を中心に大規模な被害が発生し、中国地方でも島根県の江の川等で大きな被害が発生しており、災害はいつ発

生するかわからない。

今後も天神川における台風や大雨による大規模な水害の備えとして、関係機関がタイムライン等により連携する内容を事前に把握しておくことが大変重要である。今回の検討会では、新年度で担当者が変更となっている機関もあるため、改めて、タイムラインの説明と読み合わせを行う。

天神川におけるより良い防災活動につなげていければと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。

【座長（三輪教授）】

昨年度はタイムラインの立ち上げはなかったが、事務局としては、関係機関の皆様のご意見を踏まえて様々な見直しを行った。

特に、運用支援システムが作成され、様々な情報を入手できるようになった。

水位情報や河川監視カメラの映像などの様々な情報があり、このような情報をいざという時に入手し、適切に使うためには、日頃から運用支援システムに慣れておく必要がある。いざという時に使おうと思ってもなかなか難しいので、タイムラインや運用支援システムに日頃から慣れていただきたいということをこの場で願います。

2年前のタイムライン検討会発足式の際にも申し上げたが、「住民の逃げ遅れゼロ」が目標である。新年度となり、新しく担当となった方もおられるが、我々が最終的に住民の逃げ遅れゼロを実現するという目標に向かって、力を合わせて、この検討会を実りあるものにしていきたい。

(2) 天神川水害タイムラインの概要

事務局からタイムラインの検討経緯やタイムライン作成の主なポイントと概要（タイムライン詳細版、総括版、概要版、運用支援ツール、運用方法）、令和2年度の検討会後の変更点を説明した。

(3) タイムライン読み合わせについて（各レベルの状況や連絡内容の確認）

関係機関の担当者がタイムライン運用時のイメージを持つために、各タイムラインレベルで想定される状況や倉吉河川国道事務所から発信されるメール文案、各関係機関の主な行動を事務局より説明し、関係機関全員で確認した。

さらに、運用支援システムについては、実際の画面を用いて確認できる情報を説明した。

(4) 総評

【座長（三輪教授）】

まず、「なぜこの時期に検討会を開催しているか」ということが一番大事である。こ

れから出水期を迎え、タイムラインを立ち上げる可能性があるかもしれないということ念頭においていただきたい。

タイムラインは 0 から始まるが、段階が上がるにつれて時間の余裕がなくなり、タイムラインレベル 3、4 ともなると 1～2 時間しかないような状況になる。各タイムラインレベルでご自身もしくはご自身が所属する組織が何をするのかを確認しなければならない。

本日は、その説明があったが、項目が非常に多く、検討会の資料を見返してご自身もしくはご自身が所属する組織の位置付けを今一度確認していただきたい。また、立ち上げや解除のタイミングもどのような判断でなされるのかも含めて確認をお願いしたい。

運用支援システムについては、洪水時に初めて立ち上げてもまず使えない。また、使わないと忘れてしまう。各メニューは分かりやすく作ってあるので、実際に操作し、どのボタンでどの情報が確認できるかを事前に確認しておくことが重要である。普段から利用していると河川カメラの様子がいつもと違う等の状況の変化に気づきやすい。

最後になるが、冒頭でも申したように、この天神川水害タイムライン検討会の目標は「住民の逃げ遅れゼロ」であるため、この目標に向かって、皆様のご協力をお願いする。

(5) 今後のスケジュール等について

事務局から今後の予定として、「災害対策基本法の改正に伴う地域防災計画の修正を踏まえたタイムラインの更新、企業局の行動の追加」等を行うことを説明した。

2. 関係機関からのご意見・ご質問

○座長（三輪教授）（質問）

運用支援システムの URL については関係機関へ URL を周知することになるのか。

また、資料にもあったが既にスマホやタブレットでも閲覧可能ということでしょうか。

●事務局（回答）

URL は関係機関の皆様へ事前に周知している。現在は仮のサーバでの運用となっているが、後日、正式な URL は別途周知する。

機種によっては、レイアウト等が若干異なるが、スマートフォン・タブレットでも確認できる。

以上



会場の様子



WEB 会議の様子



座長挨拶